

## (11) 書写教育研究会

会 長 北代 大 (川登小学校)  
副会長 藤倉 千秋 (中筋小学校)  
事務局 濱口 真由美 (中筋小学校)

1. 研究主題 「教育活動に活かす書写教育」

### 2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和元年 8月19日(水)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容：小筆でスキルアップ 講師：小花 典明 (前 四万十市教育研究所所長)	中筋小学校	18名参加

### 3. 今年度の取り組み

今年度も「教育活動に活かせる書写教育」というテーマを設定し、講師はこれまでもお世話になっている小花 典明先生にお願いした。アンケートの結果、最も希望の多かった「小筆でスキルアップ」の研修を行った。身近にある筆ペン(中字)を使っただけの研修では、軸を大切にすることに気をつけながら、字体を気にせず思い切りよくダイナミックに、お洒落な字を書くことに挑戦した。広告の裏や印刷の裏紙を使って練習し、表紙に文章を書いて掲示し交流した。



### 4. 今年度の成果と課題

<小花先生より>

- ・広告の裏側で練習をすると自分の好みの字体を発見できるのではないかと。今日はお洒落に書くことが難しかったかもしれないが、自分が最初に書いた字と最後に書いた字を比べるとだんだんと滑らかになってきたと思う。「軸を大切にすること」を忘れないでほしい。
- ・「思い切り良くダイナミックに書く」「自分の癖を長所に」も忘れないように。これがお洒落につながる。ぜひ1回10回100回ではなく、週に1回くらい気分よく書くことを大切にしてほしい。自分の字でかまわない、心をこめて、筆を身近なところにおいて、気軽に書いていく習慣をつけて

ほしい。

### <感想>

- ・文字を書く楽しさや面白さを感じる時間となった。子どもたちと楽しみながら味わいながら授業をしていきたい。
- ・筆ペンをもつのは祝儀袋を書く時くらい。今日は自分が書いてみて子どもたちの気持ちがわかった。折々筆を持つことで慣れたいと思った。
- ・字を書くのは好きだが、忙しさの中でじっくり書けない。今日はゆっくりと書けた。楽しみながら書かないといけないと改めて思った。
- ・字に対するコンプレックスがあった。見て褒めてもらえるとうれしくて頑張ろうと思えた。
- ・字が癖字で、筆ペンを使うことに抵抗があったが、気負いすぎずとにかく軸を大切に書こうと頑張ると自分の中で好きだなと思える字があった。
- ・昨年賞状の名前を書くときに軸を書いて書いた。癖字が嫌だったが、それをプラスに考えて書き続けていきたいと思った。
- ・低学年担任ばかりで筆を持つことが減っていた。つい形にとらわれていやだいやだと思っていたが、軸を気にしながら心をこめて書くことが大切だと感じた。
- ・去年初めてこのサークルに入って、緊張して書いたことを覚えているが、それから筆を使おうと練習してきた。お洒落に書くというイメージができず最初は悩んだが書き進めるうちに自然と書けるようになってきた。皆さんの作品が並ぶとすごい書家が揃っていると思う。圧巻。台紙も白ではなく工夫するとよりよいと感じた。

